



各地で田植え体験が実施されました！



SDGs未来都市『山都町がつくる持続可能な世界』

～山都町おむすびプロジェクト～田植え体験が行われました！



6月6日、通潤橋前の田んぼおよび田所の「トヨたんぼ」で田植え体験が行われました。このイベントは、山都町とユナイテッドトヨタ熊本がSDGs推進に関する連携協定のもと、地域貢献活動の一環として実施され、ユナイテッドトヨタ熊本のお客様をはじめ約250名の方にご参加いただきました。また、地元の矢部小学校5年生や矢部高校の生徒も参加し、地域の農業や自然環境に触れる貴重な体験となりました。今年で5回目の開催を迎え、家族や仲間との協力で田植えを進める姿は、会場全体に笑顔と活気を届けました。

秋には稲刈り体験も予定されており、地域と協力して日々の食と自然を支える活動が続きます。今後も、地域とのつながりを深める取組みにご期待ください。



通潤橋を背景に賑やかに行われた
田植え体験の様子

「つながるシェア田」お田植祭が開催されました！



6月7日、菅地区でつながるキッチン（代表：中原麻衣子さん）が取り組む「つながるシェア田」のお田植祭が開催されました。つながるシェア田は、山都町の棚田で育てた無農薬米をオーナーへ届ける取り組みで、オーナーによる田植え・稲刈りやLINEでの栽培状況共有を行っています。アイガモ農法や自然農法で栽培された棚田米は高く評価されており、現在では130組を超えるオーナーが参加しています。この取り組みは、安全・安心なお米作りに加え、耕作放棄地の増加が課題となっている棚田の保全にもつながっています。今回、東京から初参加した河村ころろさん（18歳）は、ここで育てた玄米を食べ始めてから体調がよくなったことを実感しており、生産者へ直接感謝を伝えられたことを喜んでいました。さらに、この経験を通して食の大切さを学び、今後の人生の生きるヒントにしたいと話してくれました。また、今年も元メジャーリーガーの岡島秀樹さん一家が参加し、田植えを楽しみました。

参加者は田植えを通じて自然とふれあい、充実した時間を過ごしました。「つながるシェア田」は地域と都市部をつなぐ交流の場となっています。